

環境にやさしい「美しいものづくり」を目指して —ドライプレス加工で未来の地球を守る—

山陽プレス工業株式会社
東京都北区滝野川6-12-4
TEL 03-3916-0651

山陽プレス工業(株)は、昭和22年2月にプレス金型製作・加工メーカーとして創業しました。創業当時より、一眼レフカメラのボディやパーツといった精密なプレス製品の製作を得意としていました。現在もその伝統を受け継ぎ、精密プレス技術と精密フィルムプレス技術の二つの加工技術において、業界でも一目置かれる存在となっています。



図1 自動化された製造ライン

美しいものづくり

美しいものづくりとは、美しい地球・自然・人と人との和。つまり、地球環境保全が最重要課題です。そして、より確かな精密プレス技術への検証と実践により、美しいフォルムを一枚の金属板から創造します。

山陽プレス工業(株)は、技術と生活をコーディネートするテクニカルバンクとして、美しいものづくりを提案しています。

ドライプレス加工

山陽プレス工業(株)の檜垣社長は、90年に訪れた沖縄の海を見て、15年前に訪れた時との違いにがく然としました。この時から環境を意識するようになり、漠然と「プレス加工で使用する潤滑油が環境に良くない」と感じ始めました。

そんな時、都産技研が主催するドライ加工研究会に参加し、ドライ加工に出会いました。そして、平成15年に都産技研や日本工業大学と

共同で「ドライプレス加工」の開発に着手しました。平成16年にはこの技術を完成させ、業界で初めてドライプレス加工によるカードケースの量産化に成功しました(図2)。



図2 ドライカードケース

ドライプレス加工によって成形されたアルミニウム素材のカードケースです

新しい技術への挑戦

これまで、プレス加工に潤滑油は欠かせないものでした。当時の常識では、潤滑油を使わずにプレス加工することは不可能と思われていました。しかし、ドライプレス加工技術にチャレンジし、実用化に成功しました。

この成功により、平成18年には、(社)日本塑性加工学会から技術開発賞を受賞しました。また、ドライプレス加工技術をさらに難加工に適応し、平成22年には、(社)日本トライボロジー学会から技術賞を受賞しました。

環境ビジネスへの取組

山陽プレス工業(株)は、いち早く環境対応の取り組みを始め、平成18年にはISO14000の認証取得をするなど、環境ビジネスにもきわめて積極的な企業です。

また、ドライ加工の認知度を上げ、環境保全を進めるために、平成20年に都産技研を含むドライプレス加工のプロジェクトメンバーと共に【日本ドライ加工振興会】を設立しました。そして、同会の会長に、山陽プレス工業(株)の檜垣社長が就任され、環境を守るための技術開発および普及に積極的に取り組んでいます。

開発本部開発第二部 先端加工グループ <西が丘本部>
玉置賢次 TEL 03-3909-2151 内線467
E-mail : tamaoki.kenji@iri-tokyo.jp